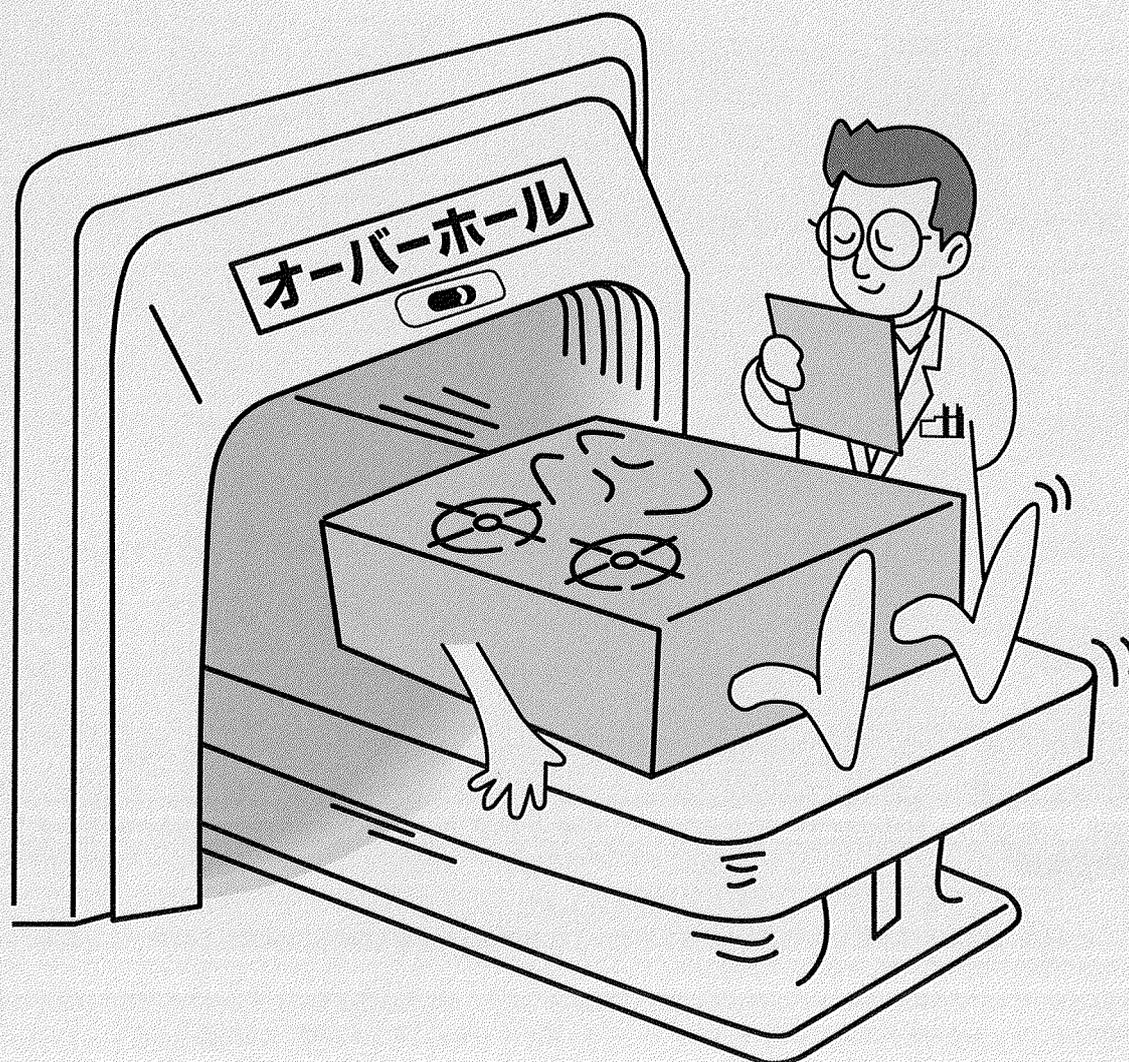


ヤマハ

GHPオーバーホール点検のご案内

長時間使用機のメンテナンス



2万時間を超えたら GHP 長時間使用機のメンテナンスご案内

GHP（ガスヒートポンプエアコン）は、2万時間または10年間のご使用を見込んで仕様が決められています。

GHPのエンジンにとって2万時間の使用は、自動車に換算すると60万～100万kmを走行したことに相当します。2万時間を超えてさらに継続使用をご計画の際には、GHP オーバーホール点検をお勧めします。

GHP オーバーホール点検では、定期点検で実施する項目以外に、機器の経年変化による部品の状態を点検し、必要に応じ部品の交換や調整を行います。

GHP オーバーホール点検を実施することで、機器の性能維持ができ、安心して継続使用が可能となります。

GHP オーバーホール点検は、通常の定期点検よりも詳細に点検整備をいたしますので、通常の定期点検とは別に費用が必要です。



■ GHP オーバーホール点検は、お客様の使用形態にあわせ3通りのコースを設定しました。

COURSE

A

基本的な（必須項目）

2万時間目（3万時間目）※注1 点検

COURSE

B

2万時間目（3万時間目）※注1 以降、さらに
5000時間以内のご使用をお考えのコース。

COURSE

C

2万時間目（3万時間目）※注1 以降、さらに
5000～10000時間のご使用をお考えのコース

※注1 カッコ内はMシリーズ、SHシリーズを表わしています。

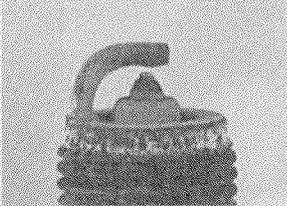
- 3つのコースは、通常2万時間目（3万時間目）点検を実施してから交換必要部品を算出しお見積りを提案いたしますが、作業前にある程度の金額の提案が可能になるように設定しました。
- お客様の使用状況や使用環境の違いにより機器の状態も変化しますので一般的な状態を想定してコースの項目を設定してあります。
- GHP オーバーホール点検を実施後の定期点検インターバルは、各モデル毎に設定した間隔で実施いただきます。
- GHP オーバーホール点検は、定期点検を設定された間隔で実施されていることが条件です。未実施の場合は有料診断の上、別途御見積りいたします。
- 製造中止後10年を経過した機種種の補修部品は、入手できない場合があります。あらかじめご了承ください。

オーバーホール点検を！

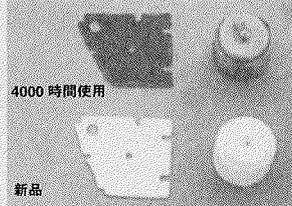
交換 部品例

長時間使用機の部品交換について

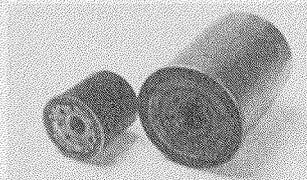
- 部品交換に関しましては各コース毎に設定する項目に沿って調査を行ない、部品交換必要の有無を診断し処置を行ないます。
- 下記交換部品は代表的なものです。



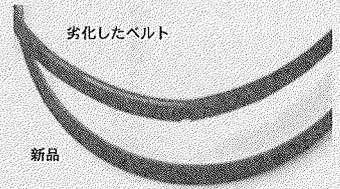
● スパークプラグの交換



● エLEMENTの交換



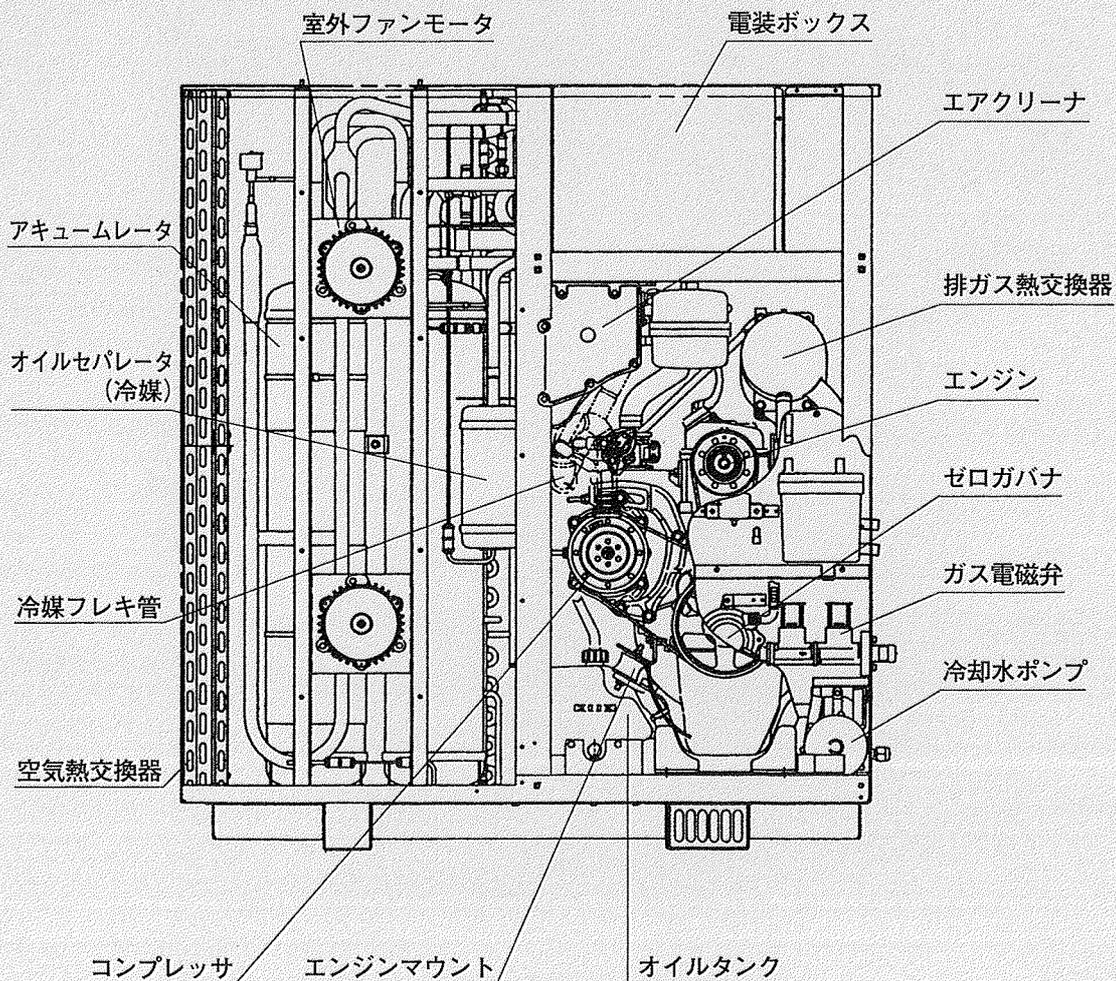
● オイルフィルタの交換



● コンプレッサベルトの交換

室外 ユニット 構成

専門家による点検で、
良好な状態でお使いください。



上記はストアシリーズの点検項目の一例です。